公益財団法人電気通信普及財団

「電気通信普及財団賞（第38回）」の受賞者および2022年度研究調査助成など

公益財団法人電気通信普及財団（秋本芳徳理事長）は、2022年度における「電気通信普及財団賞（第38回）」の受賞の著作・論文を決定するとともに、2022年度研究調査助成及び2022年11月期シンポジウム・セミナー等開催援助等の助成援助案件を決定した。

電気通信普及財団賞においては、テレコム人文学・社会科学賞、テレコムシステム技術賞に加え、昨年度新設したテレコム学際研究賞など30件の著作・論文の授賞を決定した。

2022年度研究調査助成として新規75件、1億2063万円、過年度からの継続19件、2146万円、2022年11月期のシンポジウム・セミナー等開催援助として11件、1040万円を決定した。

◇第38回電気通信普及財団賞▽テレコム人文学・社会科学賞　入賞2件、奨励賞3件▽テレコム人文学・社会科学学生賞　入賞0件、奨励賞2件▽テレコムシステム技術賞　入賞5件、奨励賞1件▽テレコムシステム技術学生賞　最優秀賞1件、入賞7件▽テレコム学際研究賞　入賞3件、奨励賞2件、特例表彰1件▽テレコム学際研究学生賞　入賞2件、奨励賞1件

◇2022年度研究調査助成▽人文・社会科学分野　19件2500万円▽技術分野　34件5000万円▽両分野に跨る分野　22件4600万円▽過年度採択分　19件2100万円。計79件1億4200万円◇2022年11月期シンポジウム・セミナー等開催援助　11件1000万円。

◇

受賞及び助成援助の具体的内容は次の通り。

◇第38回電気通信普及財団賞受賞論文～テレコム人文学・社会科学賞～〈順不同、敬称略。受賞者の所属は論文・著作発行時のもの。論文の書籍発刊元等・概要は略〉▽入賞（賞金100万円）「マスメディアとは何か―「影響力」の正体」稲増一憲関西学院大学社会学部教授▽同（同）「Platform Information Transparency and Effects on Third-Party Suppliers and Offline Retailers」善如悠介神戸大学大学院経営学研究科准教授、角田侑史神戸大学大学院経営学研究科准教授▽奨励賞（賞金50万円）「現代中国の官僚組織行動電気通信事業改革の政治過程」佐々木智弘防衛大学校人文社会科学群国際関係学科教授▽同（同）「ネット社会と民主主義―「分断」問題を調査データから検証する」辻大介大阪大学大学院人間科学研究科准教授ほか10名▽同（同）「ソシオテクニカル経営：人に優しいDXを目指して」櫻井美穂子国際大学グローバル・コミュニケーション・センター准教授、國領二郎慶應義塾大学総合政策学部教授

◇第38回電気通信普及財団賞受賞論文～テレコム人文学・社会科学学生賞～〈同〉▽奨励賞（賞金30万円）「対話的構築主義によるジャーナリズムの戦争証言インタビューの再検討～NHK戦争証言アーカイブスを事例として～」佐藤信吾慶應義塾大学大学院社会学研究科社会学専攻博士課程3年▽同（同）「オンライン脱抑制：構成概念の再考と新たなモデルの提案」温若寒大阪大学大学院人間科学研究科博士後期課程1年、三浦麻子大阪大学大学院人間科学研究科教授

◇第38回電気通信普及財団賞受賞論文～テレコムシステム技術賞～〈同〉▽入賞（賞金100万円）「Learned Image Compression with Discretized Gaussian Mixture Likelihoods and Attention Modules」Zhengxue Cheng上海交通大学▽奨励賞（賞金50万円）「Fabrication of low-loss quasi-single-mode PLN waveguides and its application to a modularized broadband high-LEV EL squeezer」柏崎貴大NTT先端集積デバイス研究所機能材料研究部異種材料融合デバイス研究G研究員ほか5名

◇第38回電気通信普及財団賞受賞論文～テレコムシステム技術学生賞～〈同〉▽最優秀賞（賞金80万円）「Twin Mean Coil：Sensitive Region of Battery-free On-body Wireless Sensor Using Body-scale Mean Coils」高橋亮東京大学大学院工学系研究科電気系工学専攻博士後期課程2年ほか5名▽入賞（賞金50万円）「Blind Multiple Measurement Vector AMP Based on Expectation Maximization for Grant-Free NOMA」原郁紀電気通信大学先端ワイヤレス・コミュニケーション研究センター博士後期課程3年ほか1名▽同（同）「A General Destriping Framework for Remote Sensing Image Multibeam Transmission 6G」長沼一輝東京工業大学情報理工学院大学院修士課程2年ほか1名▽同（同）「Mobility-aware User Association Strategy for IRS-aided mm-wave Multibeam Transmission 6G」長沼一輝東京工業大学情報理工学院大学院博士後期課程1年ほか4名▽同（同）「Self-Supervised Constrastive Learning for Singing Voices」矢倉大夢筑波大学大学院システム情報工学研究群知能機能システム学位プログラム博士後期課程2年ほか2名▽同（同）「PoF：Post-Training of Feature Extractor for Improving Generalization」山田陵太東京工業大学情報理工学院情報工学系知能情報コース修士課程1年ほか4名▽同（同）「Time-Frequency-Bin-Wise Linear Combination of Beamformers for Distortionless Signal Enhancement」山岡洸瑛東京都立大学システムデザイン研究科情報科学域博士後期課程2年ほか2名▽同（同）「Image reconstruction with Transformer for mask-based lensless imaging」潘秀曦東京工業大学工学院博士後期課程3年ほか3名

◇第38回電気通信普及財団賞受賞論文～テレコム学際研究賞～〈同〉▽入賞（賞金100万円）「I Hear My Voice；There is Spoke：The Sense of Agency Over Speech Is Enhanced by Hearing One’s Own Voice」大畑龍東京大学大学院人文社会系研究科心理学研究室特任研究員ほか3名▽同（同）「研究利用可能な小論文データに基づく参照文書を利用した小論文採点手法の開発」竹内孔一岡山大学学術研究院自然科学学域准教授ほか7名▽同（同）「Kiite Café：A Web Service for Getting Together Virtually to Listen to Music」佃洸摂国立研究開発法人産業技術総合研究所主任研究員ほか3名▽奨励賞（賞金50万円）「AI技術と集団的労働法上の課題―集団的利益調整の位置付けと不当労働行為制度の解釈に着目して―」岡村優希情報通信総合研究所主任研究員／同志社大学研究員▽同（同）「Confidence modulates the decodability of scene predictions during partially observable exploration in humans」片山梨沙京都大学大学院情報学研究科博士後期課程1年▽特例表彰（賞金75万円）「特集：インフォデミック時代のAIとサイバーセキュリティ」越前功国立情報学研究所情報社会相関研究系教授ほか11名

◇第38回電気通信普及財団賞受賞論文～テレコム学際研究学生賞～〈同〉▽入賞（賞金50万円）「Gaze+Lip：Rapid, Precise and Expressive interactions Combining Gaze Input and Silent Speech Commands for HMD Wearers」Shiwei Cheng清華大学▽奨励賞（賞金30万円）「ZEL：Net-Zero-Energy Lifelogging System using Heterogeneous Energy Harvesters」有田充九州大学大学院システム情報科学府情報理工学専攻修士課程1年ほか3名

◇

◇2022年度研究調査助成　人文学・社会科学分野（申込者〈敬称略〉、研究調査テーマ名、助成金額）▽法政大学経営学部教授　大木良子、パネルデータによるデジタルプラットフォーム市場の競争メカニズム解明、90万円▽公益財団法人ひょうご震災記念21世紀研究機構（科研費研究機関番号：84504）人と防災未来センター（科研費研究機関番号：004）主任研究員　伊藤潤、災害情報共有システムの統合および標準化に向けた政策的課題に関する研究、38万2000円▽静岡県立大学経営情報学部講師　松岡清志、自治体におけるデジタル・トランスフォーメーション政策の波及・移転に関する研究、78万1000円▽国立大学法人東北大学大学院情報科学研究科人間社会情報科学専攻メディア情報学講座メディア文化論分野特任助教（研究）王楽、東京圏チャイナタウンの空間変容とネットメディア・ソーシャルメディアに関する研究：東京都池袋地区を対象として、63万7000円▽東北学院大学教養学部准教授　井川純一、インターネット上の匿名他者のコメントによる社会的影響　YahooとYouTubeのコメント機能に着目した実験的検討、189万5000円▽大阪市立大学大学院都市経営研究科博士後期課程　阪西洋一、地域不動産業における自律分散型プラットフォームの社会経済価値に関する分析、225万4000円▽東北大学大学院情報科学研究科准教授　河村和徳、非言語情報としての「声」の質が政治的選択にもたらす影響に関する実証分析、126万円▽聖和学園短期大学保育学科准教授　上村裕樹、子育ての社会化を図るための〝保育ICT〟の活用（延長）、222万2000円▽佛教大学社会学部公共政策学科准教授　三重野雄太郎、不正指令電磁的記録に関する罪をめぐる総合的研究、55万円▽成城大学法学部教授　村上裕章、個人情報保護のための法的規制手法に関する研究、115万円

◇2022年度研究調査助成　技術分野（同）▽岩手県立大学ソフトウェア情報学部准教授　成田匡輝、ビッグデータ化したサイバー攻撃パケットを視覚化するための情報システムの開発、70万円▽長崎県立大学情報システム学部情報システム学科教授　平岡透、復元誤差によるノンフォトリアリスティックレンダリングの開発、100万円▽筑波大学図書館情報メディア系助教　小野永貴、中学・高校での探究学習指導を効率化する「プレゼンテーション指導AI」の研究開発、99万円▽東京工科大学メディア学部准置推定、120万円▽九州工業大学情報工学研究院情報・通信工学研究系助教　邵成龍、ユビキタスセンシングのためのLoRaWANによる近接検知・広域測位技術、160万円▽筑波大学システム情報系助教　家永直人、MoCapによらない三次元空間における身振りの自動位置推定システムの提案、230万円▽北海道大学大学院情報科学研究院准教授　藤澤剛、機械学習設計技術による量子情報通信向けSiN導波路光パワー分岐素子の研究、150万円▽東京都立大学システムデザイン研究科特別先導教授　石川博、AIビッグデータ応用における仮説解釈説明の構造探求と関連情報通信技術の体系化、150万円▽明星大学情報学部情報学科准教授　植木一也、新しい映像・テキストの対応付け方法による映像検索の問題点の解決、243万1000円▽国立大学法人名古屋工業大学工学研究科工学専攻情報工学系プログラム准教授　松井俊浩、自律ロボット・IoT機器用メッセージ指向ミドルウェア上の非集中型最適化基盤、95万7000円▽日本大学工学部・情報工学科教授　源田浩一、自律移動ロボット群を用いたフレキシブル通信ネットワーク構成方法、100万円▽東北大学電気通信研究所准教授　横田信英、光無線通信とFMCW LiDARを両立する集積光デバイスの研究、150万円▽早稲田大学理工学術院総合研究所次席研究員（研究院講師）　孫鶴鳴、学習型静止画像圧縮の実用化に関する研究、100万円▽阿南工業高等専門学校創造技術工学科教授、岡本浩行、プラズモニクスとフォトニクスのセルフイメージング活用ハイブリッド通信デバイス開発、173万円▽筑波大学システム情報系情報工学域准教授　西出隆志、プライバシ保護型データ解析手法の計算高速化に関する研究、86万1000円▽沼津工業高等専門学校制御情報工学科助教　金子裕哉、室内3Dモデルを用いた通信環境シミュレーションによる電波反射板の設置位置最適化、100万円▽長野工業高等専門学校工学科助教　力丸彩奈、スマートスペース実現に向けた小型デバイスを用いた動作判定のための研究、276万9000円▽東京理科大学工学部・電気工学科准教授　丸田一輝、多様なアンテナ配置形態におけるMassive MIMO伝送技術の開拓、150万円▽東京理科大学理工学部電気電子情報工学科助教　原郁紀、グラントフリー非直交多元接続における高精度な周波数オフセット補償法の開発、100万円▽国立大学法人千葉大学大学院工学研究院教授　安昌俊、画像化手法による超多接続の通信環境推定とGANによるAI学習データ生成・拡張法、266万4000円▽国立大学法人東海国立大学機構名古屋大学大学院工学研究科准教授　藤原幸一、超短時間心拍変動解析によるウェアラブル心房細動重症度診断クラウドAIの開発、290万円▽三重大学大学院工学研究科電気電子工学専攻准教授　松井龍之介、フリンテットエレクトロニクスによる超薄型電波吸収メタマテリアルの開発、175万円▽千葉大学大学院工学研究院教授　川本一彦、ロバストIoT×AIのための深層防御システムの研究調査、88万円▽秋田工業高等専門学校創造システム工学科電気電子工学専攻准教授　松井光治、みちびき信号を含むGNSS擬似信号生成とスプーフィング対策の研究開発、130万円▽鶴岡工業高等専門学校創造工学科情報コース准教授　金帝演、ペット用熱中症予防システムの開発、114万8000円▽群馬大学総合情報メディアセンター講師　小川康一、運用管理者の視点と経験を活用する自動ラック監視システムの開発、115万円

◇2022年度研究調査助成　両分野にわたる研究（同）▽豊橋技術科学大学情報メディア基盤センター准教授　土屋雅稔、推論の根拠を提示できる矛盾検出テストセットの研究、184万8000円▽豊橋技術科学大学情報・知能工学系助教　日根恭子、バーチャルリアリティにおける視点自由度と知覚の正確さの関連の検討、300万円▽北陸先端科学技術大学院大学先端科学技術研究科助教　王子洋、一対多遠隔指示の指示者支援技術―作業者の戸惑い・順調レベル提示による負荷の低減、280万円▽大阪大学大学院人間科学研究科臨床死生学・老年行動学講座博士後期課程1年生　李暁旋、高齢者の認知機能・運動機能・動体視力の向上を支援するVRトレーニングシステム、105万円▽九州大学大学院芸術工学研究院音響設計部門助教　若宮幸平、調音・音声データベースの構築、294万7000円▽国立大学法人北海道国立大学機構小樽商科大学商学部社会情報学科教授　木村泰知、表形式データおよびテキストを対象とした根拠抽出に関する研究、290万円▽早稲田大学データ科学センター准教授　堀井俊佑、観察データと実験データによる統計的因果推論のための実験計画法に関する研究、115万円▽東京大学大学院総合文化研究科・広域科学専攻・広域システム科学系教授　植田一博、人工物の形状と動きがもつ適度なヒトらしさの重要性：人工物設計に向けた基礎研究、115万円▽九州大学大学院医学研究院講師　菊地君与、母子遠隔健診に関する合併症リスク予測システムの開発研究、225万3000▽東京電機大学工学部電子システム工学科EH所研究室研究員　中川秀紀、妊産婦を対象とした軽度精神疾患検出データベースシステムの構築、97万円▽日本薬科大学薬学部医療ビジネス薬科学科教授　村井はるか、人工知能を用いた高齢者の同意能力評価と合意形成支援に関する研究、286万円▽慶應義塾大学大学院経営管理研究科教授　高橋大志、高頻度データ分析を通じたニュース情報が投資家行動に与える影響の解明、253万円▽立命館大学情報理工学研究科博士後期課程学生　西本騰、遠隔医療学習を可能とする医療教育シミュレータの開発、294万円▽筑波大学図書館情報メディア系助教　小野永貴、中学・高校での探究学習指導を効率化する「プレゼンテーション指導AI」の研究開発、99万円▽東京工科大学メディア学部准置推定、120万円▽九州工業大学情報工学研究院情報・通信工学研究系助教　邵成龍、ユビキタスセンシングのためのLoRaWANによる近接検知・広域測位技術、160万円▽筑波大学システム情報系助教　家永直人、MoCapによらない三次元空間における身振りの自動位置推定システムの提案、230万円▽北海道大学大学院情報科学研究院准教授　藤澤剛、機械学習設計技術による量子情報通信向けSiN導波路光パワー分岐素子の研究、150万円▽東京都立大学システムデザイン研究科特別先導教授　石川博、AIビッグデータ応用における仮説解釈説明の構造探求と関連情報通信技術の体系化、150万円▽明星大学情報学部情報学科准教授　植木一也、新しい映像・テキストの対応付け方法による映像検索の問題点の解決、243万1000円▽国立大学法人名古屋工業大学工学研究科工学専攻情報工学系プログラム准教授　松井俊浩、自律ロボット・IoT機器用メッセージ指向ミドルウェア上の非集中型最適化基盤、95万7000円▽日本大学工学部・情報工学科教授　源田浩一、自律移動ロボット群を用いたフレキシブル通信ネットワーク構成方法、100万円▽東北大学電気通信研究所准教授　横田信英、光無線通信とFMCW LiDARを両立する集積光デバイスの研究、150万円▽早稲田大学理工学術院総合研究所次席研究員（研究院講師）　孫鶴鳴、学習型静止画像圧縮の実用化に関する研究、100万円▽阿南工業高等専門学校創造技術工学科教授、岡本浩行、プラズモニクスとフォトニクスのセルフイメージング活用ハイブリッド通信デバイス開発、173万円▽筑波大学システム情報系情報工学域准教授　西出隆志、プライバシ保護型データ解析手法の計算高速化に関する研究、86万1000円▽沼津工業高等専門学校制御情報工学科助教　金子裕哉、室内3Dモデルを用いた通信環境シミュレーションによる電波反射板の設置位置最適化、100万円▽長野工業高等専門学校工学科助教　力丸彩奈、スマートスペース実現に向けた小型デバイスを用いた動作判定のための研究、276万9000円▽東京理科大学工学部・電気工学科准教授　丸田一輝、多様なアンテナ配置形態におけるMassive MIMO伝送技術の開拓、150万円▽東京理科大学理工学部電気電子情報工学科助教　原郁紀、グラントフリー非直交多元接続における高精度な周波数オフセット補償法の開発、100万円▽国立大学法人千葉大学大学院工学研究院教授　安昌俊、画像化手法による超多接続の通信環境推定とGANによるAI学習データ生成・拡張法、266万4000円▽国立大学法人東海国立大学機構名古屋大学大学院工学研究科准教授　藤原幸一、超短時間心拍変動解析によるウェアラブル心房細動重症度診断クラウドAIの開発、290万円▽三重大学大学院工学研究科電気電子工学専攻准教授　松井龍之介、フリンテットエレクトロニクスによる超薄型電波吸収メタマテリアルの開発、175万円▽千葉大学大学院工学研究院教授　川本一彦、ロバストIoT×AIのための深層防御システムの研究調査、88万円▽秋田工業高等専門学校創造システム工学科電気・電子・情報系講師　菅原英子、マイクロ波散乱波による物体内部の物質推定法の医療診断システムへの応用、150万円▽千葉工業大学先進工学部知能メディア工学科教授　宮田高道、線形化した知覚品質予測とSteinの不偏リスク推定による画像復元手法の研究、75万円▽電気通信大学大学院情報理工学研究科情報・ネットワーク工学専攻准教授　劉志、連合強化学習を用いた点群映像ストリーミングに関する研究、125万円▽徳山工業高等専門学校機械電気工学科准教授　宮﨑亮一、観測信号のみを用いた教師なしDNN音声強調に関する研究、130万円▽茨城大学大学院理工学研究科情報科学領域講師　小澤佑介、多元接続型可視光ワイヤレス給電通信による完全ワイヤレス海中ドローンネットワークに関する研究、172万2000円▽東海大学情報理工学部コンピュータ応用工学科准教授　村松聡、人間・農作物の相互連携型スマート農業における農作物アビアランスに基づく土壌養分推定の検討、160万円▽神戸大学大学院工学研究科電気電子工学専攻助教　葛野弘樹、オペレーティングシステムにおける特権昇格攻撃防止を目指すセキュリティ機構の研究、90万円▽九州大学大学院システム情報科学研究院・情報エレクトロニクス部門助教　カーリヤワサム・アミラ、光アクセスネットワークにおける適応変調の実装と低消費電力化に関する研究、171万1000円▽一橋大学情報基盤センター講師　中田亮太郎、公開コンテナイメージを利用したサイバーレンジのシナリオ開発の研究、230万円▽香川大学大学創造工学部准教授　石井光治、みちびき信号を含むGNSS擬似信号生成とスプーフィング対策の研究開発、130万円▽鶴岡工業高等専門学校創造工学科情報コース准教授　金帝演、ペット用熱中症予防システムの開発、114万8000円▽群馬大学総合情報メディアセンター講師　小川康一、運用管理者の視点と経験を活用する自動ラック監視システムの開発、115万円

◇2022年11月期シンポジウム・セミナー等開催援助（学術分野）（申込団体名・申込者〈敬称略〉、会議・シンポジウム・セミナー等名、援助金額）▽AWAD2023組織委員会AWAD2023組織委員長　大見俊一郎、第30回先端半導体デバイスに関するアジア太平洋ワークショップ（AWAD2023）、80万円▽公益社団法人応用物理学会（微小光学研究会）微小光学研究会代表　伊賀健一、第28回微小光学国際会議（The 28th Microoptics Conference，MOC2023）、100万円▽第46回情報理論とその応用シンポジウム実行委員会上智大学理工学部教授　澁谷智治、第46回情報理論とその応用シンポジウム（SITA2023）、100万円▽PAKDD2023組織委員会代表　櫻井保志、PAKDD2023、100万円▽電子情報通信学会情報セキュリティ研究会／情報処理学会コンピュータセキュリティ研究会副委員長／幹事　花岡浩司／千田悟一郎、第18回セキュリティ国際ワークショップ（IWSEC2023）、90万円▽OFS日本委員会運営委員長　中村健太郎、第28回光ファイバセンサ国際会議、100万円▽ISAAC2023組織委員会組織委員長　牧野和久、34th International Symposium on Algorithms and Computation 2023（ISAAC2023）、100万円▽東京農工大学准教授　山田浩史、The 29th IEEE International Conference on Embedded and Real-time Computing Systems and Applications／The 12th IEEE Non-Volatile Memory Systems and Applications Symposium、100万円

◇2022年11月期シンポジウム・セミナー等開催援助（社会貢献分野）（同）▽一般社団法人ことばのまなび工房代表理事　若林茂則、FY2023 SMILE（Students Meet International Ally through Language Education）Symposium、90万円▽特定非営利活動法人報道実務家フォーラム理事長　瀬川至朗、報道実務家フォーラム2023、100万円▽オンライン防災代表　黒田典子、オンライン防災2024～命を守るコミュニティ～、80万円